

米国NPOの福祉サービス活動 LAの日系団体によるマイノリティ女性への支援を中心に

社会問題の解決に、NPOの役割が大きいといわれるアメリカ。その福祉現場では、どのような実践が進められているのでしょうか。ロサンゼルス市のNPO、Little Tokyo Service Centerで長年勤めてこられた坂本安子さんをお招きし、マイノリティ女性への支援活動とその活動を支える法律や行政の支援策などについてお聞きし、日本のNPO活動の参考にできればと考えました。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越し下さい。なお、このプログラムは、都市共生社会研究分野の入試広報の一環として実施するため、プログラム終了後、簡単な入試説明会を行わせていただきます。



★日時 2016年11月14日(月)
午後6時30分から9時30分

★場所 大阪市立大学
梅田サテライト101教室
大阪駅前第2ビル6階JR北新地駅真上

★講師 坂本安子 さん(下記参照)

★司会 柏木宏
大阪市立大学大学院 教授

★参加 無料 ★予約 不要

都市共生社会研究分野 のご紹介

2003年4月に、大阪梅田で開設された社会人向けの大学院、大阪市立大学大学院創造都市研究科の一分野です。NPOをツールに共生社会作りを目指す人材を育成することをミッションに掲げ、民族やジェンダー、障害、セクシュアリティなど、共生社会に関する様々な課題と、それらに解決に向けたNPOのマネジメントを含め、実践的な教育研究活動を展開しています。



＜坂本安子さんのプロフィール＞

福島県出身。大学卒業後、予備校の英語講師、ケースワーカーを経て、1970年代初頭に渡米。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)社会福祉学部で修士号取得。1970年代後半からLittle Tokyo Service Center (LTSC)で、臨床ソーシャルワーカーとして勤務。今年5月に退職。日米で講演活動多数。LTSCは、ロサンゼルスを拠点にするNPO法人。社会福祉事業の他、低所得者向け住宅や「武道館」と呼ばれるスポーツ施設の建設、管理運営などを行う。現在、有給職員100にあまり、年間予算は1100万ドル。詳細は、以下のサイトを参照。http://ltsc.org/

お問い合わせ

NPOをツールに共生社会の実現に向けて活動する人材の育成をめざす社会人大学院……

大阪市立大学大学院都市共生社会研究分野

URL: <http://www.co-existing.com>, E-mail: info@co-existing.com